

顧客創造アプローチメールDMサーバー アップデートマニュアル

1. はじめに.....	1
2. メールDMサーバーのアップデートとは？.....	1
3. 事前準備.....	1
4. メールDMサーバーのアップデート.....	3

1. はじめに

本説明書は、メールDMサーバーのアップデートに関するマニュアルです。
アップデートの事前準備から、アップデート完了までの一連の作業の流れと注意点を説明しておりますので、
アップデート後のトラブルを避ける為にも必ず内容をご確認頂き、手順に従って設定して下さい。

2. メールDMサーバーのアップデートとは？

アップデートメディアやオンラインアップデートにより、弊社製品がバージョンアップした場合、
メールDMサーバーにも新機能が追加され、旧バージョンのままでは正常に動作しなくなります。
そのため、メールDMサーバーのバージョンアップが必要になった場合は本説明書に従い、
メールDMサーバーのバージョンアップを行って下さい。

3. 事前準備

アップデート方法は下記2種類ございます。

方法1. CD-ROM に収録されているツールよりアップデート。

方法2. 弊社製品のダウンロード画面からのツールを取得しアップデート。

メディアにてアップデートツールを提供している場合は、必ず CD-ROM に収録されておりますツールより
アップデートを実施してください。

方法1. CD-ROM に収録されているツールよりアップデートを行う場合。

- ① CD-ROM に収録されております、「mod」フォルダ、「DMUpdate.vbs」ファイルを C ドライブ直下ニ
コピーしてください。

コピーが完了しましたら、メール DM サーバーを終了する手順をご参照ください。

CD-ROM にて提供している場合は必ず方法1にて準備をお願いいたします。

方法2. ダウンロード画面からツールを取得しアップデートを行う場合。

- ① 「顧客創造日報アプローチ」>「メール」>「DMサーバダウンロード」を選択します。

メール	メールアカウント設定	メールの送受信に利用するメールアカウントを設定します。
	配信サーバ設定	メールの配信に利用するサーバを設定します。
	送信制限設定	DMの送信制限を設定します。
	デフォルト担当者設定	メール取込時に担当者が決まらなかった場合にセットされる社員を設定します。
	DMサーバダウンロード	DMサーバをダウンロードします。

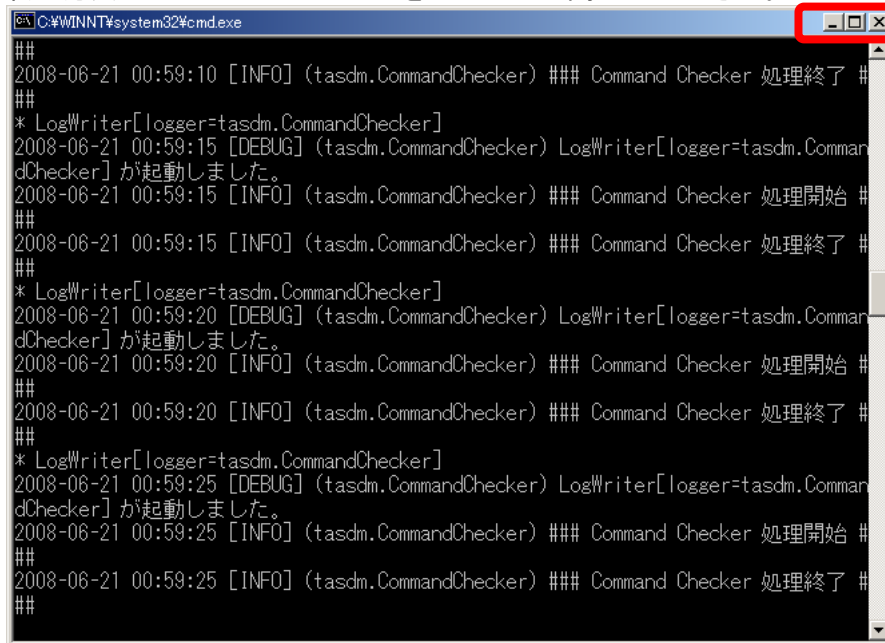
- ② 「メールDMサーバーのダウンロード」画面が表示されますので、「ダウンロード」ボタンを押し、
nidam.zip ファイルをダウンロードします。



メールDMサーバーの終了

弊社製品をアップデートメディアやオンラインアップデートにより、バージョンアップした後、メールDMサーバーを一度終了させてください。

終了方法はコマンドプロンプトを×ボタンで閉じてください。



```
C:\WINNT\system32\cmd.exe
###
2008-06-21 00:59:10 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理終了 #
###
* LogWriter[logger=tasdm.CommandChecker]
2008-06-21 00:59:15 [DEBUG] (tasdm.CommandChecker) LogWriter[logger=tasdm.Comman
dChecker] が起動しました。
2008-06-21 00:59:15 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理開始 #
###
2008-06-21 00:59:15 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理終了 #
###
* LogWriter[logger=tasdm.CommandChecker]
2008-06-21 00:59:20 [DEBUG] (tasdm.CommandChecker) LogWriter[logger=tasdm.Comman
dChecker] が起動しました。
2008-06-21 00:59:20 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理開始 #
###
2008-06-21 00:59:20 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理終了 #
###
* LogWriter[logger=tasdm.CommandChecker]
2008-06-21 00:59:25 [DEBUG] (tasdm.CommandChecker) LogWriter[logger=tasdm.Comman
dChecker] が起動しました。
2008-06-21 00:59:25 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理開始 #
###
2008-06-21 00:59:25 [INFO] (tasdm.CommandChecker) ### Command Checker 処理終了 #
###
```



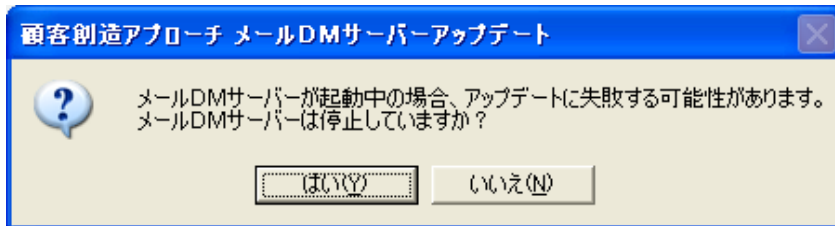
注意

メールDMサーバーで使用しているApacheをメールDMサーバーインストーラーを使用せずにインストールした環境では、本アップデートによる更新は出来ません。
現在稼働中のメールDMサーバーを削除し、再度インストールを行って下さい。

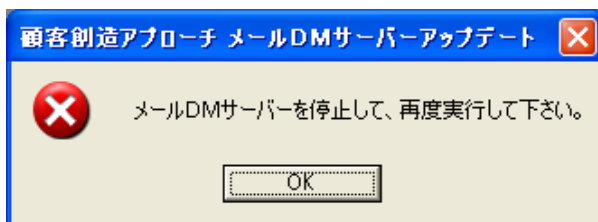
4. メールDMサーバーのアップデート

以下では、メールDMサーバーをアップデートする手順をご説明いたします。

- ① メールDMサーバーアップデートファイルをダブルクリックして下さい。
アップデートファイルは「DMUpdate.vbs」となります。
- ② メールDMサーバーの停止確認が表示されます。
必ずメールDMサーバーを停止させてから「はい」をクリックして下さい。

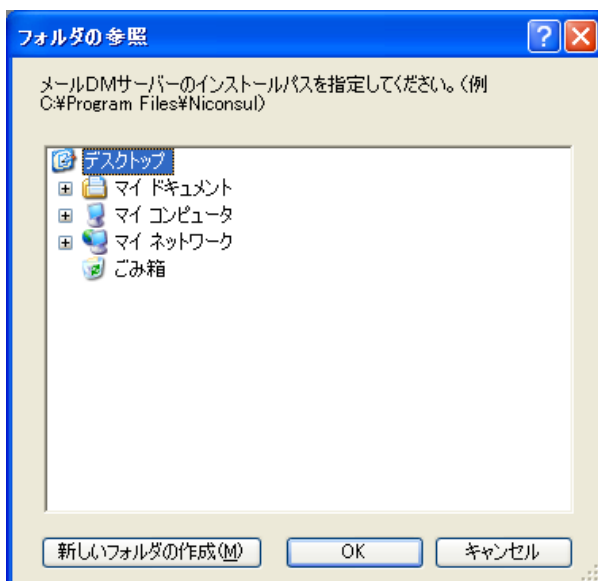


- ③ メールDMサーバー停止確認で「いいえ」がクリックされると、アップデートを実行せずに終了します。
メールDMサーバーを停止後に再度アップデートを実行して下さい。



- ④ メールDMサーバーがインストールされているフォルダを選択して「OK」をクリックして下さい。
「キャンセル」をクリックするとアップデートを実行せずに終了します。

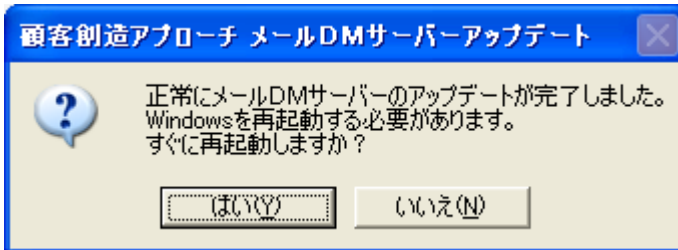
デフォルトでは「C:\Program Files\Niconsul」となります。



- ⑤ 指定されたフォルダにメールDMサーバーがインストールされていない場合は、以下のエラーが出力されます、「OK」をクリックして再度選択しなおしてください。



- ⑥ 正常にアップデートが完了すると、完了画面が表示されます。OSを再起動してよい場合は、「はい」をクリックして下さい。



注意

OSを再起動しないで、DMサーバーを起動すると誤動作の原因となります。
DMサーバーを実行する前に、必ずOSを再起動して下さい。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2009年9月30日 第2版

株式会社 **NI**コンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp

Fax : 082-511-2226

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 (当社休業日、土・日・祝日を除く)